

県庁～前橋駅クリエイティブシティ構想

第3回前橋市中心地区 クリエイティブシティ推進協議会

10/1(火) 14:30～
前橋プラザ元気21 506学習室

群馬県・前橋市

- ・ 関連性の高い単語を分析すると、まちなかの賑わい、歩いて楽しいまちづくり、公共交通の利用のしやすさを期待する声が多い。
- ・ 特定の場所については、五差路が分かりづらい、けやき並木を活かしてほしい、前橋駅～県庁までを歩いて楽しくしてほしいなどの声がある。

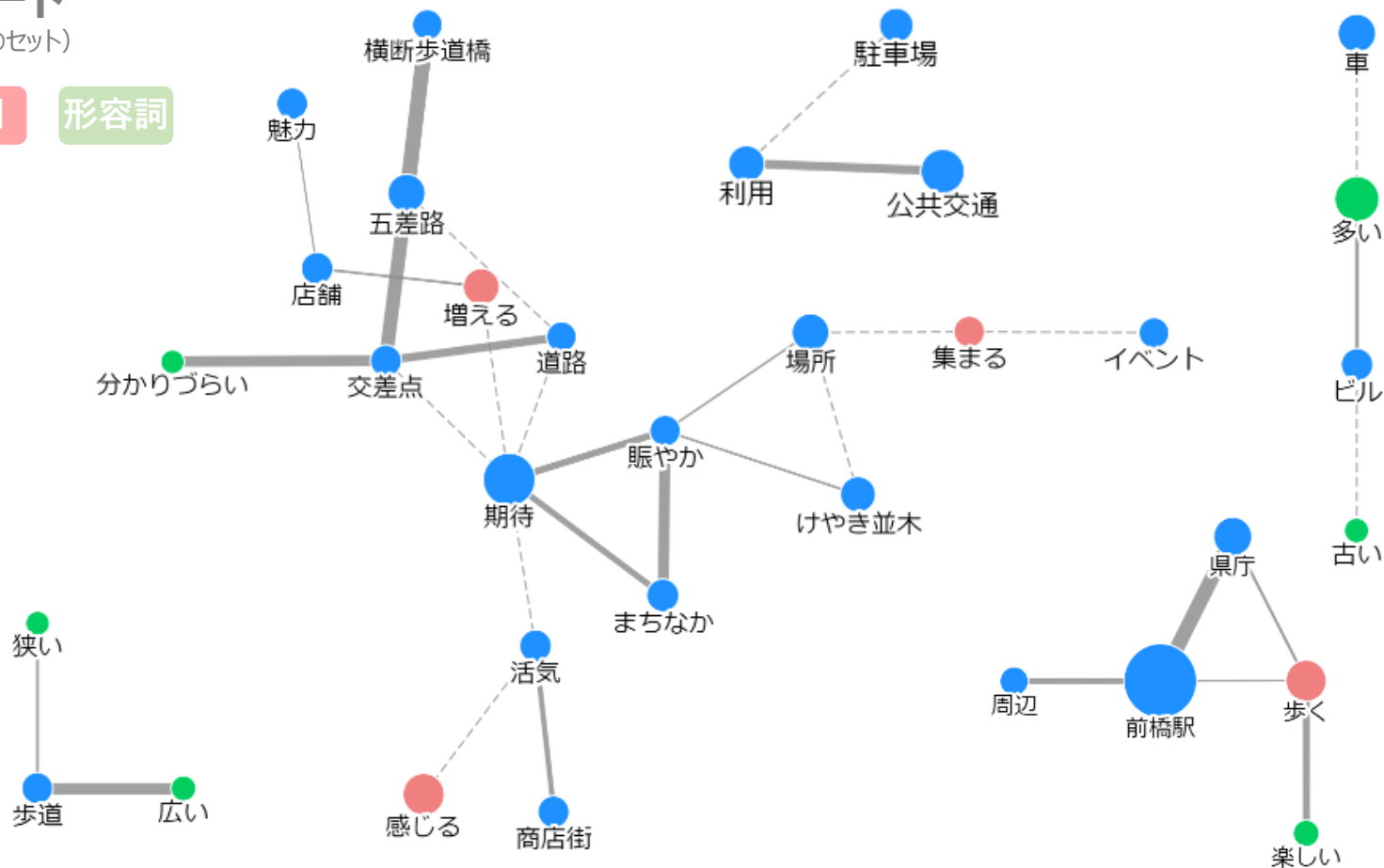
共起キーワード

(関連性の高い単語のセット)

名詞

動詞

形容詞



期待すること

1. 県庁前通りの活性化
2. 空き店舗や古いビルの利活用
3. 歩道が広がること
4. 歩行者に優しい空間づくり
5. 街全体の歩きやすさ、休憩スペースの確保など
6. 賑やかで楽しい場所やお店ができること
7. 通りの特性に合わせた整備・活性化
8. 歩行者が安心して歩けるように

気にすること

1. 歩道橋が使いづらい
2. 歩道が暗く感じられる
3. 空店舗や老朽建物が多い
4. 交通環境の課題にぎわいの不足
5. 歩行者の少なさ
6. 官庁街としての特性(土日の閑散)
7. 駐車場の課題

不安に思うこと

1. 治安面の懸念(空き物件の増加)
2. 建物の耐震性や老朽化
3. 歩行者の安全性
4. 空きビルの問題が解決されないこと
5. 通りの雰囲気が良くない
6. 県庁前からりそな銀行までの通りの廃墟のような状態

アーバンデザインの将来像

1. 前橋城跡の伝統を歴史を背景に官公庁が集積する通り
2. 十分な幅員のある歩道に沿ったビルには商業店舗の賑わいが連続する。
3. 前橋の歴史が感じられるエリアとして、平日だけでなく、休日も人が往来する通りを創出

○アンケート結果を生成AI (ChatAI)により、整理

期待すること

1. 駅前通りが歩いて楽しい空間になる
2. 前橋駅周辺エリアが統一感のある魅力的な街並みになる
3. カフェや飲食店など、魅力的な店舗を増やして欲しい
4. 賑やかでスルーできない場所にして欲しい
5. ケヤキ並木の活性化を期待する
6. 県庁所在地の顔としての駅前の活性化
7. 駅前の交通利便性の向上

気にすること

1. 駅前通りの景観や整備状況
2. 歩行者の移動・回遊性の課題
3. 駅前通りの道路が広いが寂しい感じがすること
4. ケヤキ並木の活用が不十分
5. 空き店舗や老朽化した建物
6. 夜の静かさ、治安面の懸念
7. 地域の特徴が感じられない

不安に思うこと

1. 駅前に行きたい施設がないため、街が活性化しないこと
2. 駅前通りの車道と歩行者の分離が不十分
3. 夜遅くまでの騒音
4. 大規模開発により前橋の歴史的景観が損なわれる
5. 財政的な持続可能性
6. 住民の意見が反映されにくい取り組み

アーバンデザインの将来像

1. 前橋駅と繁華街を結ぶメインストリート
2. 県都としてふさわしい価値を備えた高質な景観を維持
3. ビジネスマンや観光客が通りの賑わいを楽しみながら歩ける店舗や路上空間の創出

◆県庁前通り、国道50号について配慮する事項

【アンケート意見】

- ・ 歩行者に優しい空間づくり
- ・ 歩行者が安心して歩けるように
- ・ 歩道が暗く感じられる
- ・ 交通環境の課題にぎわいの不足
- ・ 歩行者の少なさ
- ・ 官庁街としての特性(土日の閑散)

など



【将来像(アーバンデザイン)】

官公庁や中心商店街へ訪れる人を中心に、平日も休日も人が往来するエリアを目指す。



◆トランジットモール

トランジットモールは、特定のエリアで車の通行を制限し、歩行者やバス、自転車が優先されるようにする街づくりの手段の一つ。

トランジットモールにすると、一般の車はそのエリアに入れなくなるが、歩行者が広い歩道で、安心して歩けるようになる。

さらに、空いた空間をテーブルやベンチ、屋台、キッチンカー、アートなどで埋め、歩いて楽しめるような演出をすることで、幅広い年齢層の人々が行き来し、滞留できるようになる。

◆前橋停車場線について配慮する事項

【アンケート意見】

- ・ 駅前通りが歩いて楽しい空間になる
- ・ 駅前の交通利便性の向上
- ・ 歩行者の移動・回遊性の課題
- ・ 道路が広いが寂しい感じがする

など



【将来像(アーバンデザイン)】

ビジネスマンや観光客が通りの賑わいを楽しみながら歩ける店舗や路上空間を創出する。



◆公共交通専用レーン＋一般交通レーン

公共交通専用レーンは、バスやタクシーなどの公共交通機関だけが使える特別な車線を設けること。

公共交通専用レーンには、一般の車は入れないため、バスなどは専用レーンを使うことで、渋滞を避けてスムーズに進むことができる。

これにより、公共交通が定時に運行しやすくなるので、バスなどの利用者が増え、車を使う人が減るなど、街全体の交通がスムーズになる。

自動車の交通量が減少することで、歩行者や自転車の利便性向上にもつながる。

期待すること

1. 五差路の早期改善
2. 本町二丁目交差点の道路横断を改善してほしい
3. 歩道橋の撤去やリニューアル
4. 車も人も通リやすくしてほしい
5. 五差路交差点を歩行者や自転車にも優しい設計にしてほしい

気にすること

1. 五差路の課題
2. 歩道橋の老朽化や汚れ
3. 横断歩道の課題
4. ごみの問題
5. 植栽の管理状況
6. 五差路の横断が危険で大変
7. 渋滞が解消されないこと

不安に思うこと

1. 五差路の複雑な交通環境
2. 歩道橋の安全性
3. 五差路交差点の問題が解消されないこと
4. 五差路の改良工事が進まないこと、進捗が遅いこと
5. 五差路の問題に対する行政の対応が不十分

周辺自治会による要望

- ・歩行者及び自転車の円滑な移動ができるような国道50号本町二丁目交差点の平面交差による改良事業の速やかな推進とこれを実現するための国県市の連携強化

今後、群馬県主催で国際デザインコンペを予定しており、一次審査(複数案選定)、最優秀作品決定の段階で、本協議会やまちづくり会議を開催し、地域のみなさまへご意見を伺います。

詳細な道路構造や、出入りの検討などについては、最優秀作品選定後、基本設計・実施設計の段階でみなさまと調整させていただきます。

◆今後のスケジュール(案)

| 地域の皆様の参加の場・手法 | お知らせ | 群馬県・前橋市 |
|--|-----------------------|--|
| <p>● 第1回まちづくり会議(オープンハウス)</p> <p>アンケート調査</p> <p>アンケート回答</p> <p>今後の進め方をご説明するとともに、アンケートやオープンハウスを通じてご意見を伺います</p> | まちづくり通信 | |
| <p>● 第2回まちづくり会議(地元説明会)、第3回協議会</p> <p>アンケート結果から、地域(皆さま)が重視する『まちづくりに関して配慮する事項』について確認・共有します</p> <p>今ココ</p> | まちづくり通信 or HP公表 | アンケート結果から、『まちづくりに関して配慮する事項』について整理します |
| <p>● 第3回まちづくり会議、第4回協議会</p> <p>空間デザインの複数案を『公開展示』し、地域の皆様からご意見を伺います。伺った意見は、審査等に活用します</p> | まちづくり通信 or HP公表 | 『まちづくりに関して配慮する事項』を参考に、空間デザインの複数案を決定します |
| <p>● 第4回まちづくり会議、第5回協議会</p> <p>空間デザインの決定案について、説明します</p> | まちづくり通信 or HP公表 | 空間デザインをまとめます |
| <p>デザイン策定後も、引き続き地域の皆さまに意見を伺いながら、磨きをかけ、構想の実現を目指します。</p> | | 基本設計・ 実施設計の実施 |

期待すること

1. まちなかの活性化や賑わいの増加
2. 歩きやすく、人々が集まれる魅力的な街並み、ゆっくり過ごせる空間
3. 商業施設やお店の増加・充実(飲食店、ファミレス、スーパー、カフェ等)
4. 生活利便性の向上
5. 県庁所在地としての風格と魅力のある街並み
6. 子育て世帯、高齢者や障害者など誰もが使いやすい街づくり
7. 安全で清潔な街づくり
8. 県外からの人を呼び込める魅力的な街
9. 公共交通の充実
10. けやき並木の景観を大切にしつつ、活気ある街並み
11. これまでの取り組みや歴史を大切にしつつ、新しい要素も取り入れてほしい
12. 県民の目線に立ったまちづくり
13. 無駄な支出はせず、長期的な視点を持って取り組んでほしい
14. 中心市街地が歩きやすく賑わいあふれる環境
15. 歴史を感じられる空間で、前橋市民が誇りを持てる空間
16. 県庁～前橋駅間を公共交通で結ぶ
17. 空きビルを活用し、人が集まる施設を誘致する
18. 前橋らしさを感じられる個性的なまちづくり

気にすること

1. 空きビルや空き店舗が多く、寂しい雰囲気
2. 夜間の人通りなど、治安面での懸念
3. 歩道の状況(デコボコ、自転車の走行等)が悪く、高齢者等が歩きづらい
4. 車と歩行者・自転車の動線が分かりづらい
5. 建物デザインの統一感がない
6. 街並みが地味で活気がない
7. 自転車が多く危険
8. 夜間の騒音
9. 駐車場の確保
10. 車通行規制による影響
11. 県庁周辺の整備と中心市街地の整備のバランス
12. 空きビルや古い建物の活用方法
13. 歩行者と車の動線の分離
歩行者の安全確保(横断歩道の見直し改善など)
14. けやき並木の保全と適切な維持管理
15. 駅前と中心市街地の動線の連携
16. 来街者と地元住民のニーズのバランス
17. 公共交通の利便性向上と車の動線設計

不安に思うこと

1. 急激な変化による地元住民の生活への影響
2. 人口増加による生活環境の悪化(騒音、混雑等)
3. けやき並木の管理や老木化による事故リスク
4. 財政面での持続可能性
5. 賑やかさのあまり、静かな雰囲気が失われること
6. 前橋らしさが失われること
7. 長期的な維持管理と資金確保の課題
8. 整備に伴う交通渋滞の悪化
9. 大規模再開発により地域コミュニティが損なわれること
10. 行政主導で市民の意見が反映されないこと
11. 歴史的景観の失墜
12. LRT導入など、前橋の実情に合わない施策の検討

期待すること

- 1.アーケード街の活性化
- 2.文学館の前の雰囲気が良いので、外で涼しみながら文学を楽しめること
- 3.前橋市の郊外の道路状況や活性化を期待
- 4.広瀬川や馬場川沿いの環境整備を評価し、さらなる活用を期待
- 5.前橋駅から県庁、さらに前橋中央駅までを含めた広範囲のまちづくりを期待
- 6.市立図書館の新しい施設整備を期待
- 7.子育て世帯が楽しめる魅力的な施設整備を期待
- 8.駅や公共施設の利便性向上、交通アクセスの改善

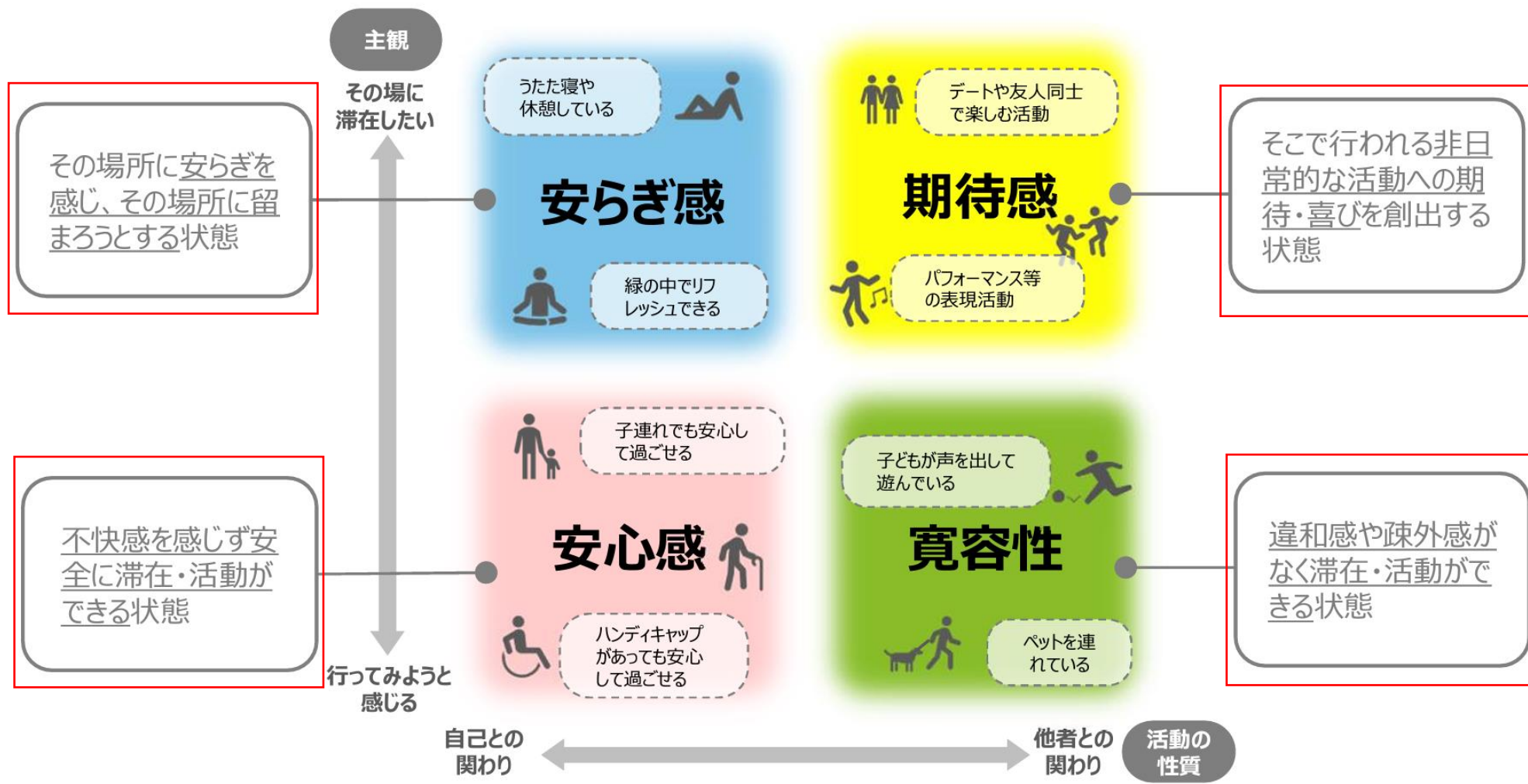
気にすること

- 1.駐輪場が有料が多いため、色々な施設に立ち寄りにくい
- 2.前橋市中心部の交通渋滞や路上駐車、飲酒問題などの治安面
- 3.県庁周辺や商店街の整備が先行し、他の地域が取り残されている状況
- 4.宇都宮のLRT計画などその他の交通網整備の動向
- 5.県民会館や県立図書館などの既存施設の扱いや今後の方向性
- 6.クリエイティブシティ構想やデザインコンペの位置づけ
- 7.新市長の方針や施策の方向性
- 8.前橋駅のデザインがつまらない
- 9.若い世代の流出が多い
- 10.高齢化が進んでいる
- 11.空き店舗が多く、活気がない
- 12.外国人が多く街の雰囲気が変わってきている
- 13.行政のカタカナ英語の使用が多く分かりづらい

不安に思うこと

- 1.国道17号(群馬大橋)の渋滞
- 2.前橋駅周辺の活性化が進まないこと
- 3.中心部の再開発が進まず、シャッター商店街化が続くこと
- 4.自然環境よりも箱物施設の増設に重点が置かれること
- 5.市民の意見が十分に反映されていないと感じられること
- 6.デザインコンペの賞金が高すぎる
- 7.テルサの閉館で高齢者の利用が困難
- 8.中心市街地の活性化が進まないことへの不安
- 9.市内全体のまちづくりの方向性(将来像やコンセプト等)が不明確
- 10.行政と住民の意思疎通が十分ではない

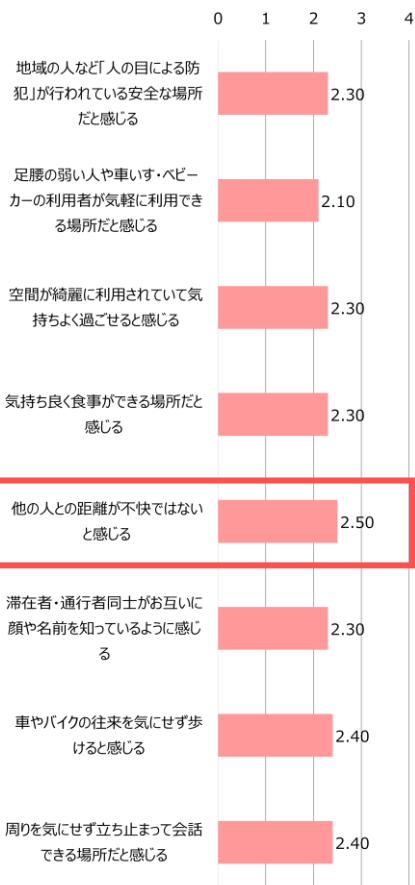
国土交通省の「まちなかの居心地の良さを測る指標」を参照し、県庁～前橋駅周辺において、「安心感」「寛容性」「安らぎ感」「期待感」の4つの要素にグルーピングし、【主観項目】を測定。
国土交通省が示す、4つの要素から読み取れる状態を、各項目の平均点より判断。



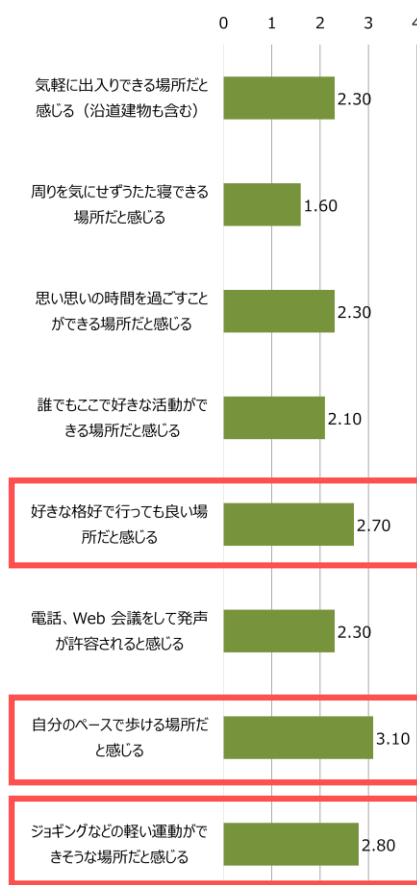
4段階評価で、3点以上が「少しそう思う」に該当するため、2.5点以上(四捨五入で3点程度)のものは概ねその項目が満たされていると判断できる。

- 『安心感』については、「他の人との距離が不快ではない～」の項目のみが満たされている。
- 『寛容性』については、「好きな恰好で～」「自分のペースで～」「ジョギングなど～」の項目が満たされている。
- 『安らぎ感』については、「緑などに～」「陽だまり～」「ぶらぶらと～」の項目が満たされている。
- 『期待感』については、いずれの項目も満たされていない。

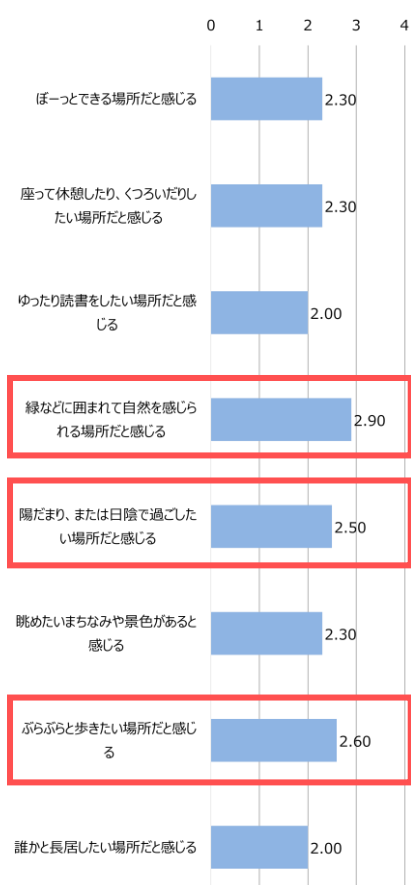
安心感



寛容性



安らぎ感



期待感



【4段階の評価】

1. 全くそう思わない
2. あまりそう思わない
3. 少しそう思う
4. とてもそう思う